

平成30年度議会による行政評価 施策評価の予算措置等の状況

資料1-1

- 市総合評価 A: 計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。
 市総合評価 B: ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。
 市総合評価 C: 目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。
 市総合評価 D: 目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

< 施策評価 >

(千円)

施策評価名	担当課	施策内容	市 評価	議会 評価	議会評価総括コメント	実施状況コメント	H31年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	増減額 (H31-H30)	備 考 (H29年度 決算額)
活気づくり	まちの活性化課	・観光協会が市の観光振興の一翼を担えるよう、観光協会の基盤強化、機能の充実、他団体との連携を支援する。 ・豊富な観光資源を活用し、市民団体等が主催する催しを支援する。 ・本市への来訪者が、快適に回遊、滞在できるように既存の観光資源の連携を図るほか、関係団体等のホスピタリティの向上を支援する。 ・訪日外国人観光客(インバウンド)の受入環境整備や運営主体となる民間の人材育成を支援する。 (現況と課題) ・泉佐野観光ボランティア協会等の関係団体の育成を図り、さらに多数の来訪者が一日快適に回遊し、滞在できるようなホスピタリティあふれる受入れ体制の充実が求められている。 ・泉佐野市観光協会その他関係団体とともに、豊富な観光資源をいかしたイベントの開催を通じ、一定の集客を確保している。 ・市の玄関口となる泉佐野駅周	B	拡充	1. 関西国際空港の直近都市の地の利を活かし、ホテルの誘致・増設によるインバウンド客の受け入れ態勢の更なる強化をすることで滞在都市としての地位をめざすこと。 2. インバウンド客が気軽に利用できるように、まちかど等にWi-Fiの更なる整備と同時通訳が可能なタブレットの設置を行政主導で普及させること。 3. 盆踊り、だんじり祭り、よさこい祭り、りんくう花火などは老若男女が集い、郷土愛を育むだけでなく、伝統文化を継承させる絶好のイベントである。よって、引き続き強化を図ること。 4. 各種民間団体との更なる連携を図ることで泉佐野版DMOの強化を図ること。 5. 上記の財源については「ふるさと納税」や「地方創生推進交付金」を活用すること。	この施策を構成する2事業のH31当初予算額とH30当初予算額を比べると、3,752千円(3.4%)の減少となっている。これは、施策を構成する2事業で計3,752千円の減となったためである。 ※増減理由は各事務事業に記載。	107,296	111,048	△ 3,752	140,064

		<p>辺の活性化を図るため、産官学が参画するプロジェクトにおいて、駅周辺でイルミネーションの点灯などの事業を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能の集いなどを通じて、歴史ある伝統文化を継承するとともに、地域コミュニティの形成に努めている。 ・既存の自然、歴史、文化等の観光資源をいかし、集客性や滞在性を備えたイベントの開催を支援し、新たな観光振興を創造する必要がある。 ・訪日旅行ブームにより、本市での宿泊客が大幅に増加しており、受入れ環境整備や地域づくり人材の育成が急務となっている。 							
--	--	---	--	--	--	--	--	--	--

<本施策を構成する事務事業評価>

市評価段階 A: 拡大、B: 現状維持、C: 縮小、D: 休止、E: 段階的に廃止、F: 即廃止(完了)

(千円)

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H31年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	増減額 (H31-H30)	備 考 (H29年度 決算額)
1	観光振興事業	まちの活性課	りんくう・関空まち処、観光情報センター、南泉州観光キャンペーン推進協議会等を活用した情報発信やおもてなし。ふるさと納税等を活用したイベント助成や観光協会や市公式キャラクターに対する業務委託等。観光誘客推進業務に伴うモニメントの設置。	B	—	<p>○受け入れ環境の整備については、日本の玄関口として大いに充実して欲しいです。来日観光客の、声なども多く聞き入れる体制の充実もお願いします。</p> <p>各種イベントも、インバウンドへの取り込みや、情報発信などの工夫(インスタスポットや動画など)により、更なる推進をよろしくお願いたします。</p> <p>近隣市町との観光連絡協議会などの連携で、観光周遊プランの充実で来日観光客目線での魅力有る観光資源開発をお願いします。また、体験型の観光事業が注目されていますので、導入出来るのであれば、進めていただきたいと思ひます。</p> <p>商店街の充実には、多くの課題もあるとは思ひますが、開発出来るチャンスでもあると思ひますので、日本の玄関口としてインバウンド向けの環境整備と、日本の魅力発信・若手起業家のチャレンジショップなどの可能性を活かせるようにお願いします。</p> <p>ふるさと納税・ゆるキャラグランプリなど泉佐野市の情報発信は確実に大きくなっていると思ひます。これからも、よろしくお願いたします。(アニメーションなどの作成もいいと思ひます。)</p> <p>○岸和田花火が本年中止(おそらく財政的な理由だと思われる)となる中、本市のりんくう花火は、企業からの協賛金、ふるさと納税による寄付金等により、本年も8月25日に開催される。多くの市民が楽しみにしておられる。今後、各種イベントを開催する際には、必要な財源確保について十分考慮する必要があると思ひます。</p> <p>○今後更に訪日外国人旅行者の増加と対岸にある本市の宿泊客の増加が予想できる中、環境整備にも力も入れてほしい。</p> <p>多国籍の言語に対応する案内板やフリーWi-Fiのさらなる導入など、訪日外国人等が安心して買い物等を含め滞在や、体験を楽しめる環境整備を期待する。</p>	<p>H31当初予算額とH30当初予算額を比べると、3,752千円(3.4%)の減となっている。</p> <p>これは、70周年ギネスチャレンジ分で25,057千円の皆減、イベント助成金で7,091千円の減となった一方、多言語観光案内板整備で10,000千円皆増、ふるさと創生助成金で3,000千円皆増、関空立国ショーケース事業から移行した泉佐野まち処運営業務委託料で14,852千円皆増となったためである。</p>	107,296	111,048	△ 3,752	124,369

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H31年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	増減額 (H31-H30)	備 考 (H29年度 決算額)
						<p>○市民ニーズや社会動向などを踏まえて、ふるさと納税が集客力の向上にさらに活かされるよう期待します。</p> <p>○主要観光行事は観光振興に欠かせない事から、行政、観光協会や関係機関、団体でその運営方法について検討を行い、市民の理解を深めるため、シンポジウムを開催する等情報の提供に努めて頂きたい。</p> <p>主要観光行事等の観光情報は、行政や観光協会等複数のHPで提供しているため、利用者に必要な情報が得難くなっているのではないかと多くの市民に観光振興への取組みを理解してもらうためには、観光情報の収集や発信の手法についても検討し、市民や観光客のニーズに合った情報提供に努める等、継続的な取り組みが必要である。</p> <p>○地元にお金が落ちるように、商店街がにぎわうような方策をとるべきと思います。</p> <p>○国内外の集客数向上を目標とし、りんくうまち処や関空まち処などを運営しているが、外国人観光客が増えているにも関わらず集客数が頭打ちとなっている。具体的な運営改善策が求められているのではないかと。</p> <p>ふるさと納税を活用した4イベントのうち、とくにザ・まつりでは年度ごとの目的限定納税額と、実際の助成額に均衡がとれているのか疑問である。助成対象や金額の見直しが必要ではないかと。</p> <p>ギネスに挑戦の事業は、H29年度も1000万円近い費用が掛かっているのではないかと。(H28年度700万円、H30年度2500万円)郷土芸能や泉州タオルのPRを一律に否定するものではないが、多額な費用をかけてのギネスの挑戦の事業にどれほどの意味があるのか大いに疑問である。もっと地道に文化・産業を育成し、発信していく手法に切り換えられたい。</p> <p>○観光協会主催イベントは犬鳴山をベースに継続して実施されており、特に29年度は郷土芸能の集いに於いて佐野くどきで2度目のギネスに挑戦が実施された。</p> <p>残念ながら記録達成には至らなかったが多くの人が一同に伝統的文化に触れたことは大変有意義であった。</p>					

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H31年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	増減額 (H31-H30)	備 考 (H29年度 決算額)
						<p>イヌナキンも新しく誕生したゆるいタイプのキャラクターが子ども達にも評判がよく、継続して泉佐野市のPRを行ってほしい。</p> <p>○従来の行政サイドの思惑で提供するサービスと求められる需要と乖離が無いかを検証し真に求めているサービスを構築する必要がある。</p> <p>○イベントへの補助金額がやや高いように思うところがあり、金額が妥当なのか、今後も収支の検査をしっかりと行っていただきたい。</p> <p>○泉州エリアでの広域で観光への取組みを発展させてください。</p> <p>○宿泊者は増えていますが、観光振興が成果を上げているとは言い難い状況だと考えます。泉佐野市において歴史面から観光客を集められるのは、犬鳴山でありますし、今後新たな観光資源として期待できるのはりんくうタウンやマリーナのナイトエンターテイメントやリゾート的なまちのブランド化であると考えます。</p> <p>観光振興に関しては、焦点を絞って資源を集中させて観光地化を実現していただきたいと考えます。</p> <p>特に犬鳴山は京都にも対抗できる長い歴史と魅力ある場所ですので、現状そこまで観光客を集められていないのは、事業評価としては低い状態であると言わざるを得ません。</p>					

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H31年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	増減額 (H31-H30)	備 考 (H29年度 決算額)						
2	シビック・ モール事業	まちの活性課	インバウンド(訪日外国人観光客)の取り込みを図るため、受入環境整備と運営者の支援による来訪者目線に立ったエリアマネジメントの取組みを行う。	F	—	<p>○周遊バスは、観光スポットの開発や、日本の景観・文化・伝統に対する魅力発信も併せた検討の上に定期的な見直しをお願いします。</p> <p>利用者も増えていると思いますが、来日観光客の声とかを聞けるようにしてください。</p> <p>特区ガイドについては、幅広い活躍が出来るように頑張っていたきたいと思います。(災害マニュアルの普及や、来日観光客目線での意見聴取、など)東大阪市でも、活動していると仄聞していますので、新たなスキルも活かした上に、魅力有るガイドとして希望者が増えるようにお願いします。</p> <p>来日観光客目線での、インバウンド向けの環境整備をお願いします。(街灯が暗いとよく耳にします。</p> <p>○外国人延べ宿泊者数は、H29年度実績が100万人で、地域内消費額も71億円という成果を収めており、事業評価は高いと思われる。</p> <p>○H28年決算とH29年決算とを対比すると504万円から156万円へと減額の中、H28年度の実績とH29年度の実績を比べると効果がUPしている。この点は評価に値する。</p> <p>一方今後のまちづくり運営に関しては「民」を主体に取り組み、柔軟性と斬新な取り組みを期待するものである。</p> <p>○駅周辺や店舗客のリサーチも踏まえて、さらなる宣伝効果の向上に期待します。</p> <p>○肝心なことは、地元商店街の整備だと思う。</p> <p>○訪日外国人観光客を対象に、受け入れ環境整備や社会基盤整備を行うことなどを「官」の役割としているが、現状では地域での消費効果は「一部に偏っている」との課題認識をされている。経済波及効果を71億円としているが、ほとんどがホテル等の宿泊への消費ではないかと推察する。この事業によって広がった経済効果とは考えにくい。</p> <p>肝心の地元商店街の整備が手つかずの状況ではないかと推察する。たとえば店舗のリフォーム助成制度などを創設し、店舗・住宅兼用で貸し出せないという建築構造改修のきつ</p>	<p>H30年度に事業廃止。</p> <p>※一部事業は、大阪版DMO連携推進事業へ移行。</p> <p>【参考】 (千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事務事業名</th> <th>H31予算額</th> <th>H30予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪版DMO連携推進事業</td> <td>46,778</td> <td>58,509</td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	H31予算額	H30予算額	大阪版DMO連携推進事業	46,778	58,509	0	0	0	15,695
事務事業名	H31予算額	H30予算額															
大阪版DMO連携推進事業	46,778	58,509															

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H31年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	増減額 (H31-H30)	備 考 (H29年度 決算額)
						<p>かけ作りを支援することも検討事項ではないか。</p> <p>効率性が「C」とされ、「将来的な地域における経済効果を見越しての事業展開のため」としているが、不断のコスト意識なくしては「ムダ使い」のそしりは免れないと考える。</p> <p>○多くの外国人宿泊者の滞在時に泉佐野駅周辺で食事する場所や散歩するエリア、観光するスポット等十分に提供出来ていないと感じる。</p> <p>LCC等で遅い時間帯に到着した人達がコンビニで買った弁当などを路上で食べている状況は今も続いており、早急に行政主導で対策をすべきと考える。</p> <p>○インバウンドが求めるものと行政が用意できるものに乖離がある。例えば、ホテルチェックイン後の夕食を取る場がない。インバウンドは単純に夕食を求めるが既存の店舗は食事＋アルコール提供を重きに置いている。故に観光に来ていながらスーパーマーケットで食材を求める人が多い。インバウンドが求めているサービスを深耕する必要がある。</p> <p>○まち処は、泉佐野駅前の店が他の店に比べて意外と売上が低い。しかし、中の商品の陳列などは、一番お土産ショップのように入りやすく魅力的であるように思う。</p> <p>○インバウンド客への訪日目的調査など、マーケットリサーチをすることで、それぞれのニーズに見合った「おもてなし」方法の分析が出来、また対策も組めると考えます。動向調査の強化を図ってください。</p> <p>○動向調査等がどれだけ市民や企業に利用されているかを、成果指標に加えて頂きたいです。いくら面白い調査を実施しても、いい業者に調査を委託しても、その結果を市民に還元できなければ全くやる意味がないと言えます。</p> <p>民間の力を最大限発揮させるために、調査結果を早急に公開していただきたいと思います。調査結果はきちんとまとめてから出すという考えは捨てて、まとまっていなくてもよいからどんどん出すべきだと考えます。</p>					

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H31年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	増減額 (H31-H30)	備 考 (H29年度 決算額)
						民間の動きは遅いので、発展状態にある今を逃すことなく、泉佐野市をさらに活性化できるよう事業の成果を高めていただきたいと思います。逆に大手企業の動きは早いので、大手企業が参入する前に地元企業が頑張れるよう、中小企業にはできないマーケティングの役割などで行政は支援するべきと考えます。					
合 計								107,296	111,048	△ 3,752	140,064